



光桂寺だより

第218号

真宗大谷派 光 桂 寺 〒838-0133 福岡県小郡市八坂201
TEL 0942-72-2432 FAX 0942-72-2486 印刷 片山印刷(有)

お盆を迎える



昨年のお盆前には、ウイルスによる世界中の混乱がいよいよ厳しくなってきた頃でしたが、今年のいま現在、まだ収束していません。まず高齢者を対象にワクチンの接種が始まり、順次進んでいます。まだまだ国民に対しては、見通しが立っていない状況です。ウイルスに対する恐怖心が私たちを震え上がらせてしまいました。ワクチンにも不安があることが、すんなりと進まない状況を作り出している原因の一つかもしれません。

オリンピックの開催が迫っていますが、これまでの大会とは様変わりしたものとなることでしょう。このよな中、今年もお盆を迎えようとしています。

真宗におけるお盆についての考え方は、私たちの「いのち」を支えてくださっている、あらゆるご恩に感謝をし、いま生かされている幸せを喜び、感謝の念を申させていただくというところであります。

単なる先祖供養ということではありません。お盆は「亡き人を案じるより、亡き人から案じられている我が身」に気付くことが求められるのであります。

お盆を通して私の「いのち」が、亡き人とおして生かされていることに気付かされることこそ供養ということであります。

お盆は真宗では、八月十三日から十六日までの四日間を言います。

◎ お盆のおかざり

門徒ものしり手帳の次のページをご覧ください

P7…意義、作法の全般 P…花

P…打敷 P36…きりこ を参照ください

金属の仏具（花瓶やローソクたては、陶器のものは使いません）を金属磨きで丁寧にみがき、お内佛（仏壇）には打敷（うちしき―三角形の布）を掛けます。出来れば夏物（白地）を用意ください。

一・お花は、マキや松、ひのきを真（シン）にして、季節の花を添えて立てます。

二・お内佛（仏壇）内部のお供えは、小餅やおだんごなど、をお供えします。

三・お内佛（仏壇）の中には、お茶、お水、お酒、ビール、缶、などをお供えしません。

四・仏前には、調理をしたお膳や折詰めなどはお供えしません。

五・盆提灯としては、真宗では「きりこ」を掛けます。

六・迎え火、送り火は真宗ではいたしません。

初盆について

亡くなられて初めて迎えるお盆を初盆と言いますが、光桂寺は四十九日をまだ迎えていなくても、可能な限りその年に初盆のお参りをいたします。

初盆のお参りは、習慣では八月十三日に廻つていますが、十三日以前でも構いません。ご希望があれば前もってお知らせください。

なお、初盆にお参りする時間につきましては、効率よく廻るため、お知らせいただいた順に関係なく、順序を八月初めまでに決めて、それから各御宅にこちらからお知らせいたします。

次に示しているように、今年も沢山の方が初盆を迎えられます。初盆参りにつきましては、ご希望の時間には、添えないこともありますので、ご承知おきください。

初盆を迎える方々



- 久留米
- 野畑
- 末次
- 古飯
- 平方
- 久留米
- 小郡
- 平方
- 十楽
- 久留米
- 十楽
- 末次
- 宇佐
- 八坂
- 馬渡
- 十楽
- 杷木
- 末次

お盆供養、全戦没者追弔法要、盆踊りをいたします

左記のように執り行ないますので、ご参詣くださるようご案内申し上げます。

○八月十二日(水) 盆踊り
午後三時半より 光桂寺境内で

盆踊りは、保育園児を中心に光桂寺境内(園庭)でいたします。(雨天の場合は園舎を利用し行います)



○八月十二日(水)
盆供養、全戦没者追悼法要
おつとめ 午前九時

永代経志ご寄付者ご芳名

誠にありがとうございました。

十二月
四月
六月

庫裏建設に対する懇志金のお願

昨今の世の中の情勢を考えますと、厳しい現状であることは否めません。そのような中、ご懇志のお願いをいたしていることは、光桂寺といたしましても、心苦しいことではありますが、ご懇志の意義をご理解くださりますようお願い申し上げます。お願いする次第であります。

すでに早速懇志金をお送りいただいた方、門徒会よりもご挨拶が届くと思いましたが、光桂寺としまして、せん越ながらお礼を述べさせていただきます。誠にありがとうございました。心より感謝申し上げます。また続々返信の便りをいただいております。合わせて御礼申し上げます。

お電話によるお問い合わせもありましたので、今後の皆さん方にお伝えした方が良くと思われることについて、光桂寺総代さんとも協議いたしました。了解を頂きましたのでお知らせいたします。

①分割払いの場合の意向確認ハガキの記入に

ついて

- ・分割払いの項に○を付け、何年で納付を完了するか、年数を記入くだされば結構です(回数不要です)
- ・毎月払いでも結構です。また年間に複数回納入いただいてもお受けいたします。

庫裏建設についての経過報告をいたします

◎建設委員会

五月二十九日 十四時より

厨房の検討を綿密に行い、大方の配置がまとまりました。また光桂寺総代会より提案があつた懇志金の集め方については原案が承認されました。

◎光桂寺総代会

五月二十九日 十六時より

建設委員会からの報告を受けました厨房は、今後もよりよい間取りを検討して行くことを了承し、六月中の集約をすることとなりました。懇志金の集め方には少し修正を加え、六月六日の門徒会総代会に提案することとなりました。

◎門徒会総代会

六月六日 十三時半

建設委員会からの報告を了承し、懇志金の集め方については一部追加をし、最終的に承認されました。これを受けて、門徒の皆さん方に懇志金の依頼を、六月中に発送することとなりました。

◎発送準備会

六月十三日 九時

懇志金の依頼状を整え、封入の作業をし、順次発送をしました。

◎建設委員会

六月二十七日 十二時半

最終的な厨房の検討をして、まとめた案を光桂寺総代会へ提案しました。

◎光桂寺総代会

六月二十七日 十六時

建設委員会からの厨房に対する提案を了承し、次ぎの段階へ進むこととなりました。



厨房のイメージ

◎光桂寺門徒会総代会(予定)

七月三十一日 九時半より

庫裏建設に伴う光桂寺の
これからのスケジュール(予定)

法要

◎二〇二二年三月の婦人会総会は、「おとき」なしで本堂で、「法要(おつとめ)」と法話を聞いていただく。

◎二〇二二年度中の「法要」は、「おとき」なしで本堂で、「法要(おつとめ)」と法話を聞いていただく。

◎二〇二二年度中の会議は、本堂で行う。
工事(予定)

◎現庫裏の整理引越し準備

(二〇二一年七月～十月)

◎庫裏の道具等のプレハブ倉庫への引越し(二〇二一年十一月～)

※住職、坊守の転居

※電話 現在の電話を移動

◎本見積もり(二〇二二年十二月～)

◎工事契約(二〇二二年三月～四月)

◎庫裏解体取り壊し(二〇二二年三月～四月)

◎本体工事(二〇二二年五月～)

◎本体工事竣工(二〇二三年二月)

◎道具等の移転(二〇二三年二月末までに)

◎駐車場整地(二〇二三年四月末までに)

三井西組婦人坊守研修会

五月二十四日 蓮明寺

コロナ禍の中で「真宗門徒は何を問ひ、いかに歩むべきか」ということで、青木 玲先生(大谷短大準教授)を講師として研修会が開かれました。光桂寺からは婦人会会長と坊守が参加しました。

春の永代経は、無事勤めさせて
いただきました

春の永代経は、五月八日に「おとき」は簡略化しながら例年通り用意し、護寺のためにお力添えをいただいたご門徒や、その他多くの方に感謝を込めながら、十三時より法要を勤めさせていただきました。例年と変わらぬ参詣を得た事、大変ありがとうございました。

味坂共同納骨堂と光桂寺との
関係を今一度明らかにします

◎これまでの経過

田の中の墓地整理も兼ねて、各地に散在していた墓地の集合を発案され、味坂村の共同納骨堂を建てようということとなった。その建設候補地として、光桂寺の一部である現在の位置に建設されることが決まった。

加入者は、村の共同納骨堂ということから、光桂寺の門徒に限らず地区で希望する方を募り現在に至っている。従ってこの納骨堂の維持管理については、当初は納骨堂経営委員会と称したが、後に現在の味坂共同納骨堂委員会となった。建設当初からの方針としての、共同納骨堂ということを受けつぎ、現在も加入者については、宗派を問わないこととなっている。

さらに味坂共同納骨堂の特色は、維持費を徴収しないことである。また掃除については、地域の加入者の方々の、善意による奉仕活動によりなされていることも特色である。

これまでに増築を三回行い、現在の加入者は七三六戸である。

◎墓地の移動(改葬)について(住職の見解)

この地で生活を経験された方のお骨は、故人も故郷に葬ってもらっているという思いだったろうと考えれば、動かすことはどうだろうか。動かした後、さらに次ぎの代になり、また遠方に移ることが生ずれば、またまたお墓を動かすことになってしまうことも考えられる。お骨は「この人の故郷」にお墓があり、葬られているという思いになっていただきたいものである。

(次ページへ)

●納骨袋の紹介

骨壺のみであると、二壺置けるが、三壺目からはどれかのお骨を下に落とすこととなっている。しかし下写真のこの袋を利用すれば、かなりの方のお骨が、下に落とすことなく納められるので、お奨めしたい。



●納骨堂のお供え

納骨堂内の各家の前面（花立てを置いてあるスペース）に、お供えやお花（生花も造花も）を上げることは、管理上支障がありますので申し訳ありませんがご遠慮ください。手ぶらでのお参りを願います。また過去帳を安置しているガラス戸の中にも、お供え等は置かないでください。

生花をお持ち込の場合、ご面倒ながら納骨堂入口前の、花立てに立てていただければ幸いです。

上山奉仕団参加者を募集します

ご本山の受け入れが不透明ではありますが、今年も上山（京都の東本願寺に詣でること）奉仕をいたしたいと考えています。過去総代さんを中心に参加していただいていたのですが、希望の皆さん方もお誘いいたします。くわしくは後日チラシを作成しますが、凡その内容をお知らせします。

期 日 二〇二二年十一月六日（土）
（八日（月））

場 所 東本願寺同朋会館

募集人員 五〇十名程度

参加費 未定（門徒会からの補助金が
（参加人数には制限あり）
予定されるため）

婦人会お磨き奉仕

期日 八月一日（日） 八時より

仏教婦人会追弔会

期日 九月二十日（月）
〇十三時より追弔会
〇十四時より法話

講師 西宗寺 蒲原 稔彦師

昨年この時期から今年までに亡くなられた、光桂寺仏教婦人会の会員の方々の追申法要（お勤め）と法話があります。

本堂での「上法事」についてのお願い

- 一、原則、本堂での法事は、十時開始といえます
- 二、法名軸や過去帳は、持参の必要はありません
- 三、お供えをご用意下さい
- 四、読経の時に焼香をしていただきますので、読経の前に、香炉での燃香（お線香を焚く）は、しないで下さい
- 五、終了後の湯茶の接待は原則いたしませんのでご了承下さい

年忌法要（法事）について

亡くなられて一年目は一周忌と言います。これより先の年忌は、亡くなられた年を一年目とし、数え年で計算します。従って、三回忌は二年目になります。

法事は、その年一年間が回忌になりますので、命日の後でも前でも、都合の良い日を選び、勤めるのは構いません。なお、お盆のお参りをいたします時期に、併せてご法事をされるのはお受け出来かねますので、ご承知おきください。

お内佛の打敷き（三角の飾り）は普段は掛けません。お正月、お彼岸、お盆、命日、法事の日などに掛け、終わったら片付けましょう。

年回表は、本堂に掲示しています。毎年お正月に貼り換えます。年初めにお参りになり、確認ください。

県道沿いの三角地について

現在整備して駐車場となっておりますので、光桂寺参詣や、納骨堂参拝の折にご自由にお使い下さい。なお、あくまで予定ですが、十月頃には、庫裏解体に伴う保管倉庫を置くことを考えております。

庫裏完成後には、納骨堂前の駐車スペースも含め、この三角地と全体の整地をいたす計画であります。

謹んでおくやみ申し上げます

四月 二日 杷木

六月 二日 末次